

# その他（イベント運営）

## ■その他の現状の問題点 1

障害特性	車椅子の方の障害程度などで速さは同じではない
	点字を読めない視覚障害もいる
	中途失明。点字読めない
	点字で読める人は10%（31万人中）
	目・耳・歩くを同時は難しい。危険あり
	音声ガイドを開きながら歩くのは危険（耳で聴きながら情報を得ながら歩くため）
	音で情報を得る
	音声がないと案内がわかりにくい
	見ながらの行動はダメ。先に地図を覚える
	障害者みんなが優先入場を望んでいるわけではない
	段差手伝ってもらおうと普通に押すと前のめりになる。あげるのではなく下げる



### <短期的な解決の方向性>

- 障害に対しての知識を身につける（事前研修等に参加）
- 障害に応じたサポートの方法やコミュニケーション方法を知る
- 単に障害だけで判断することなく、ユーザー個人の意思（サポートが必要か否か等）を尊重する
- 障害者に対してサポートや配慮をする際に、例えば、視覚障害なら点字の対応をすれば大丈夫と言った間違った知識（思い込み）を持っているケースもある。視覚障害と言っても一括りではなく、全盲や弱視、見え方や視野など様々である。障害も個性として個々に違いがあることを理解する

## ■その他の現状の問題点 2

館内美化	ちょっとした障害物の除去。導線のゴミ拾い
	目の高さにある障害物は危険
	普段は置かない障害物もちょうと今だけと置いておくと事故の原因になる可能性大
	案内板の汚れが近くで見れていない
	点字案内板の鳥のフンを綺麗にする
	点字表示を綺麗に拭く
	落ち葉で転倒する可能性。雨の日は特に



### <短期的な解決の方向性>

- 通路上にある障害物を移動する
- 移動した障害物はユーザーの導線上ではない場所へ。壁際などに避けた際にもユーザーの目の高さにかかるような突起がないように注意する
- 点字板は主に視覚障害者が素手で触れて使用する。ユーザーが気持ちよく活用出来るように常に清掃しておく
- 落ち葉（特に雨で濡れた落ち葉）のゴミなどは転倒の危険があるため、こまめな清掃を行う

# その他（イベント運営）

## ■その他の現状の問題点 3

備品整備	車椅子パンク→ねんき入ってる 施設の貸し出し車椅子。パンクしているのはあるある。 車椅子のパンクを直す（全てチェックする） 設備点検
------	---



### <短期的な解決の方向性>

- 車椅子やベビーカーなど貸し出ししている備品は利用者が直ぐに利用出来るように、点検・整備をしておく
- コミュニケーションボードや要約筆記具等のコミュニケーションツール等は直ぐに利用出来るように、利用方法についてスタッフが理解しておく

## ■その他の現状の問題点 4

来場者の誘導	福祉系イベントの時の車椅子渋滞をどうするか
--------	-----------------------



### <短期的な解決の方向性>

- 今までのイベント運営時よりも車椅子利用者や歩行に不自由を抱えるユーザーが多く来場することが予測される。エレベーターでの移動や多目的トイレの利用、車椅子用座席スペース等利用が重なる可能性が高い。事前にスムーズな誘導が出来るように準備をしておく

## ■その他の現状の問題点 5

連携	イベント運営側が手話通訳に事前に情報を渡すといい イベント運営側が手話通訳と事前に手話通訳の内容知っておく必要がある イベント運営側が手話通訳の内容を事前に知っておく必要がある
----	--



### <短期的な解決の方向性>

- イベント運営側とイベントに関わる方（手話通訳者やボランティアスタッフ）との連携を密にとり誰もがイベントの概要が分かっている状態を作っておく必要がある
- イベント当日は公共交通機関（JRやバスなど）とも連携を図り、多くの障害を持った方々が安全に会場まで来れるよう協力（配慮）してもらう